

## 文献

殿山 希, 佐藤 豊実, 濱野 鉄太郎, 大越 教夫. がんサバイバーの身体的愁訴に対する継続的あん摩療法の効果 ランダム化比較試験. 日本温泉気候物理医学会雑誌. 2016; 79(1): 50. 医中誌 web ID 2016235027

### 1. 目的

がんサバイバーに対する継続的あん摩療法の有効性を検証する。

### 2. 研究デザイン

ランダム化比較試験

### 3. セッティング

記載なし

### 4. 参加者

過去に婦人科がんが確認され、標準的治療終了後3年以上を経過し再発の兆候がないがんサバイバー40人

### 5. 介入

Arm 1: あん摩継続群 20人 (毎週1回40分のあん摩施術を8週間合計8回継続的に行う)

Arm 2: 経過観察群 20人 (8週間の試験期間の始めと終わりに測定を実施)

### 6. 主なアウトカム評価項目

Visual Analogue Scaleによる身体的愁訴の変化

### 7. 主な結果

解析はIntention-To-Treatの原則に従い、年齢および施術前値を共変量とした共分散分析を行った。あん摩継続群ではあん摩最終回の施術前値は初回の施術前値より-21.5低減した(95%信頼区間: -30.1 to -12.8. 施術前値 50. 年齢 50歳における最小2乗平均)。経過観察群では試験終了日の値は試験開始日の値より0.8増加した(95%信頼区間: -7.7 to 9.2)。両群間に統計学的有意性が認められた(F値=13.8. p=0.0007)。

### 8. 結論

毎週1回40分間のあん摩施術を7回継続することはがんサバイバーの身体的愁訴の軽減に有効である。

### 9. 論文中の安全性評価

記載なし

### 10. Abstractor のコメント

本研究はがんサバイバーの身体的愁訴について継続的なあん摩施術の効果を検討したRCTである。抄録集のため具体的な身体症状、施術部位などの詳細な情報は不明であるが、愁訴の改善について統計学的有意差が認められており、継続的なあん摩施術の有効性を示唆する結果となっている。今後の研究の発展が期待される。

### 11. Abstractor and date

成島朋美 2021. 11. 25